

平成30年2月1日

会員各位

協会だよりー302(2月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)
触媒資源化協会

トピックス：

- 第235回月例会(講演会・新年会)の開催
開催日：平成30年2月8日(木) 14:30～
会場：如水会館(千代田区神田一ツ橋)
講演会：1. 堺化学における各種波長変換材料の開発状況について
講師：小林 恵太様 (堺化学工業株式会社)
2. 金属酸化物の化粧品での応用とその液状分散体
講師：芦田 拓郎様 (堺化学工業株式会社)



- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 第三十六回 JSRA 会の報告
【予定事項】
- 三. 事務局より (二年度の予定)
- 四. 【雑字】 秩父困民党の歴史見学記

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① [協会だよりー301 \(1月号\)](#) をメール&郵便で送信 (12/28)
- ② 第五回運営委員会
開催日：平成30年1月18日(木)16:00～17:00
場所：堺化学工業(株)東京支店会議室(友泉岩本町ビル2F)
議題：第235回月例会の準備
出席：運営委員及び第235回月例会の幹事会社、専務理事
【予定事項】
 - ① 第235回月例会(講演会・新年会)の開催

開催月日：平成30年2月8日(木)14:30～

開催会場：如水会館(千代田区神田一ツ橋)

講演会：1. 堺化学における各種波長変換材料の開発状況について

講師：小林 恵太様 (堺化学工業株式会社)

2. 金属酸化物の化粧品での応用とその液状分散体

講師：芦田 拓郎様 (堺化学工業株式会社)

新年会：17:30より開催

2. 第36回 JSCRA 会の報告

1月25日(木) 総武カントリー総武コースで開催予定の第36回 JSCRA 会は22日(月)の夜半より関東地方を襲った大雪のため残念ながら中止し、暖くなる3月下旬に延期、同コースにて開催する予定です。後日再度ご案内をしますのでよろしくご参加ください。



雪の参考イメージ写真；総武カントリーの実写真ではありません。

4. 事務局より (2月度の予定) 2月出勤予定：9日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
1/28	1/29	1/30	1/31	1	2	3
×	×	○	×	○	×	× (F)
4	5	6	7	8	9	10
× (F)	×	○	○	235月例	×	× (M)
11	12	13	14	15	16	17
×	振替休日	○	× (C)	○	×	×
18	19	20	21	22	23	24
×	×	○	×	○	×	×
25	26	27	28	3/1	3/2	3/3
× (M)	×	○	×	○	×	×

【雑学】秩父困民党の歴史見学記

今から130年ほど前、明治17年、松方デフレに遭遇した埼玉県秩父地方の小規模繭・生糸生産農民・中間業者が、生活に困窮して高利貸しの返済金延期や利息の減免を県庁等に懇願するも相手にされず、とうとう困民党として組織的に武装蜂起(3000名以上と言われる)し、高利貸しなどを焼打ちし、結果、憲兵や鎮台兵に鎮圧され、首謀者は死刑となった事件です。まちだ自由民権カレッジで継続学習し、そのフィールドワークとして仲間と秩父を訪ねました。

① 龍勢会館・秩父事件資料館(復元・井上傳蔵邸) 埼玉県秩父市吉田久長 32

困民党武装蜂起の中心となった吉田町(現秩父市吉田)には、龍勢会館に秩父事件資料館が併設されています。会館に入場して、150インチスクリーンで龍勢祭り(棕神社の例祭)、ロケット花火の発射の瞬間を轟音と共に楽しめます。館内には発射台とロケットの模型も展示されています。棕神社祭りは10月の第二週日曜日で大勢の観光客が押し寄せるそうです。皆さんも龍勢はテレビで見たことがあると思います。付属して映画「草の乱」で復元された、井上傳蔵(困民党会計長・偽名を使い北海道に潜伏)邸の見学、館内には北見国野村牛(現・北海道北見市)で伝蔵が亡くなる直前に、家族(家族も知らなかった)に秩父困民党の会計長だったことを告白した写真も展示されています。右の写真は「草の乱」で復元された井上傳蔵邸、左の写真は龍勢発射台とロケットの模型です。



② 音楽寺(二十三番札所) 埼玉県秩父市寺尾 3773



小鹿野町より小鹿坂峠を越えて困民党が集結し、大宮郷（秩父市）へ乱入した寺が音楽寺です。「秩父困民党無名戦士の墓」には～われら 秩父困民党 暴徒と呼ばれ 暴動といわれることを 拒否しない～と刻まれています。



上の写真は音楽寺の梵鐘。困民党が大宮郷へ乱入する合図に打ち鳴らしました。

右の写真は音楽寺境内より秩父の名山武甲山を見たものです。

音楽寺の謂れ「1234年 妙見大菩薩・蔵王権現・善光寺如来・熊野権現・閻魔大王・具生神・花山法皇・白河法皇・徳道上人・性空上人・良忠上人・通観法印の十三人の権者が秩父札所を開設した時に、この地の松風の音を聞き、菩薩の音楽と感じたので山号を松風山、寺名を音楽寺とした」



③ 秩父神社 埼玉県秩父市番場町1-3



12月2日・3日に行われる有名な秩父夜祭は、ここ秩父神社の例大祭です。三猿と言えば日光東照宮が有名ですが、同じ徳川家康縁りの御社で有るにも拘わらず、秩父神社本殿裏門の長押の彫刻は東照宮三猿「見ざる、言わざる、聞かざる」とまるで正反対の「お元気三猿と言われ「よく見・よく聞いて・よく話そう」いうことで現代の情報社会にふさわしいと言われています。

④ 少林寺 (第15番札所) 埼玉県秩父市番場町7-9



少林寺境内には、青木興一警部補と窪田鷹男警部補の墓があります。秩父事件の戦闘で殉職した青木興一警部補と窪田鷹男警部補に対して当時の山縣有朋内務大臣から送られた碑文が建立されています。

⑤ ちちぶ銘仙館 埼玉県秩父市熊木28-1



昭和5年に誘致した埼玉県秩父工業試験場、昭和58年埼玉県繊維工業試験場秩父支場に改組された。平成10年に県内工業試験場の再編、統合で廃止され秩父市に譲渡されました。ちちぶ銘仙館として、秩父織物、銘仙等の歴史上貴重な史料の展示や伝統的な技術を伝承するための施設として、昭和初期の面影を残した形で改修しました。本館はアメリカ人建築家ライト氏が考案した大谷石積の外装や儀装が施されており、国の登録有形文化財に登録されています。

⑥ 金仙寺(困民党総理・田代栄助の墓) 埼玉県秩父市下影森6650

田代栄助は幕末から明治にかけての秩父の豪農、1884年、井上伝蔵らの懇願により困民党総理を引き受けました。事件終結後は死刑となりました。



⑦ 烈士鈴木安吉碑 (秩父鉄道浦山口～武州日野間の道路脇に横倒しの碑)



アジア主義者の巨頭、玄洋社の総師である頭山満が揮毫した碑が横倒しとなっています。鈴木安吉は困民党に対抗した人物で、その為の顕彰碑の様です。倒れた碑の裏側に謂れが記されているようですが、碑を元に戻すには相当の力が必要の様です。

⑧ 龍峰山清泉寺 埼玉県秩父市下吉田



清泉寺の門前には、秩父事件殉難の碑が建立されています。こちらは鎮圧した側の殉難日の様です。坂を下った下の墓地には彦久保次郎吉 (困民党弾薬会計) の墓があります。

⑨ 棕神社 埼玉県秩父市下吉田 7377

秩父困民党の決起の地となった棕神社にはおおよそ三千人が集結したと言われています。龍勢祭りはこの棕神社の例祭です。駐車場脇には龍勢の司令台があり、発射台が遠望されます。左の写真は龍勢祭りの司令塔と発射台、右は秩父事件百年の碑 (1984年) です。



⑩ 井上伝蔵の家跡と井上伝蔵（困民党会計長）の墓

秩父市吉田総合支所（旧吉田町役場）の駐車場にバスを留、徒歩にて街道沿いにある伝蔵宅跡（跡地前には解説版が設置されています）と道を隔てた奥にある墓に詣でました。左の写真が街道沿いにある井上伝蔵宅跡の説明版で、右の写真が井上伝蔵の墓です。



ここを後にして、吉田より小鹿野町へと移動し、昼食となりました。

⑪ 鹿の子で昼食 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野 3603



昼食は小鹿野名物「わらじかつ丼」をいただくことに。一足なので2枚のカツがのっています。ボリュームたっぷりですニアには一枚で十分、二枚は持て余しぎみです。

⑫ 十輪寺 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野 1432

十輪寺は秩父事件と関係は薄いですが、芭蕉の句碑があるので寄っていただいた。



芭蕉の流れをくむ小鹿野の俳人「中阿坊朴夔」が芭蕉の100年忌に建てた句碑です。

「梅が香に のっと日の出る 山路かな」

小鹿野町に別れを告げ、秩父市に戻ります。初日の訪問予定であった和銅遺跡に向かいます。

⑬ **和銅遺跡** 埼玉県秩父市黒谷 2191

西暦 708 年、この地で採掘された自然銅が朝廷に献上されました(和銅奉獻)。元号が「慶雲」より「和銅」に変わったことから大きな出来事で有ったと思われます。日本最古の流通貨幣「和同開珎」はこの自然銅をもとに作られたと言われています。和銅採掘露天堀跡には日本通貨発祥の地として「和同開珎」のモニュメントが設置されています。最近では 1998 年の飛鳥池遺跡(奈良県明日香村)から発掘された「富本銭」が日本最初の流通貨幣と言われています。



秩父は江戸時代から明治期、鉄道が出来るまで開港地横浜までの近道・正丸峠、飯能、青梅、八王子、町田を通りシルクを運ぶ通商交流が有りました。秩父市は埼玉県の最西部に在り山に囲まれている荒川の源流地です。旧・吉田町(秩父郡)は 2005 年 4 月 1 日、秩父市・荒川村・大滝村と合併し、新・秩父市は東京・山梨・長野・群馬の 4 都県と接する市となりました。小鹿野町は秩父市に合併せず、現在でも秩父郡に所属し、秩父市に囲まれている形になっています。



記：小林尚道
【文責：専務理事】